



第1号

令和6年4月30日

庄和すずらん幼稚園

新しく入園された皆さま、そして、進級された皆さま、おめでとうございます。この“保育だより”は、すずらん幼稚園の園運営や教育理念、教育内容、教育方法、そして具体的な実践を、皆さまに知っていただく一助として、思いつくままに発表させていただく欄を“保育随想”として、園長が毎月一回を目安に配布させていただくものです。

保育随想

★ 人は環境で育ち、学びで人生は変わる！

私たちは、有難いことに、これまで幾多の出来事に出会い、乗り越えてきたと振り返ることがありますが、そこにはいつも誰かが居てくれました。此のところで、私も四か所の子ども達の生活がスタートする入園式に立ち会いました。成長する大事な柱は、取り巻く環境にありまして、取り分け大きな環境は人であります。集団では子ども同士の育ち合いと支え合う生活が始まり、此处までの大きな支えとなって来た両親や家族であります。自分の思うようにしてくれたら、子どもの意欲は大きく伸びる！とも言われる精神学者もおります。いろいろな人の中で、真似てみたり興味に任せて突き進んだりしながら、やってみることが大事なんでしょうね！愛ある言葉は、次への意欲につながります。意欲に満ちている子の話しは、心配が先に立つものですが、逆行する話は受け入れ難いことも、容易に想像できることですので、話を聞いて見なければ会話が成り立ちません。私たちが経験して来たことや、客観的には難しいと思われることや、その手立てや資金の問題などが、どうしても先に浮かび否定的なことを思いながら、あれこれと質問をしたくなったりするものですが、どうでしょうか？その心配の数々を乗り越える道や方法を考え始めるのではないのでしょうか。反対意見や苦言を聞く事もある中で、自分で成就する道を見つけ出す、この時間が生きる上で大事なところなのか思うのです。私たちは、子ども達の自立への道を歩む応援者であります。自分はこうしたい！と言ってくれたら、先ずは大成功なのです。じつと様子を見て静かに生きる場面や時期は誰にもあります。その人その人には、その時間が必要なのだと思います。今だに私達も周囲の影響を受けながら生きている一人ですが、環境人として生きている自負を持つとすれば、今のままでは居ない、これから大きな成長と変化を内在する一人の人間なのだ！というスタンスと距離感が肝要かと思うのです。

同時に私たちは、好奇心のおもむくままに、そして役に立つかよりも楽しさ優先で生きて来たのも現実かと思います。合唱コンクールの練習のときに、声が良いね～！先生から言われて、その後一生懸命に声を出す生活を意識していました。それは、いろいろな楽器の演奏にまで興味が広がるのです。幾らかの体を動かす機会に恵まれて、とうとう体育の教師を目指したり、競争と言う場面にも身を置くのですが、やはり楽しいと思えることが原動力になって来たように思います。周りの人、中でも家族の対応は、そのワクワク感を抱かせてくれました。大いなる心配も掛けたのでしようが！